

輝きませんか

むぎの会

季節の食材を使ったお弁当を、月に1回ひとり暮らしの高齢者に届けています。

アットホームな感じで、旬のものを取り入れ無駄にすることなく皆さん手際よく動き、自分に出来ることを無理なくこなし、それぞれがスムーズに作業をしているところが“凄い”と感心しました。後でお話を伺い当日の運びがスムーズなのは、リハーサルがポイントだとわかりました。



根郷地区内のひとり暮らし高齢者への配食サービスと見守り
活動日：第1、第2火曜日 根郷公民館調理室

豪華なお弁当が出来上がり、直ちに配達に出かけて行きました。ひとり暮らしの高齢者の皆さんは笑顔で「いつもありがとう」と言って心まにしている様子でした。



今日のメニューは、えびの天ぷら野菜のかき揚げ、ちくわともやし、の酢の物、切り昆布と人参のしょうが煮、ゆかりご飯でした。

一人ひとりに健康を気づかした言葉かけや会話を聞き、心温まる経験をさせていただきました。

「むぎの会」は、チームワークが良く仲間を気づかっている素晴らしいグループです。



取材者：越川、斎藤

手話サークル「希望」



手話の学習と普及、聴覚に障がいをもった方との交流
活動日：第1~4木曜日 10時~12時 西部地域福祉センター

訪問した7月下旬は、夏休み前の学習発表で、各自が自由な内容を約1分間全員の前で発表していました。

これは、将来手話通訳者として舞台上に立ち活動する準備として、度胸をつけるために必要不可欠な練習方法で、大きな折鶴を手渡しながら受け取った人が気持ちのおもむくままに手話で発表。入会間もない会員さんには分かりやすく説明。聴覚に障がいをもっている方の発表時は、手話通訳も入り身

近な話題で会員同志の学習成果を確認したり、親近感ももてたりと和やかな場となっています。

また、その姿に「早くマスターして、聴覚障がいの方のお手伝いをしたい」という強い気持ちが伺えました。



現在は会長の岩谷秀雄氏をはじめ、当事者の方も含め30歳~76歳の男女46名の会員で活動。国際色もあり手話の比較も面白いです。

センター内の学習のみならずテレビ聴取や外部講習会にも参加され、自己研鑽しておられる会員さんもいるとの事。

ますますのご活躍を期待します。



取材者：柴田、本部、杉本、若林、大久保

ボランティアで！

志津ジュニアリーダーズクラブ



子ども会活動の支援、ジュニアリーダーの育成
活動日：第2、第4金曜日 志津公民館 19:30~21:00 随時

10月19日(土)第40回志津公民館祭での活動を見学しました。

豚汁・おにぎり・味噌おでん・コーヒーの販売。子ども体験コーナーでは、クラフト工房を行っていました。

会員は、中学生から成人まで現在は約30名とのこと。皆さんが明るく元気でハツラツとしていて、人々の心をつなぐ温かいコーナーになっていたことが印象的でした。

子ども会などのレクリエーションの手伝いや指導、リーダー養成と様々な活動に取り組んでいます。

「飾らないが一番です！子ども達のキラキラと輝く笑顔に接すると自分達も嬉しく楽しい気持ちになります。」とお話いただきました。

講習会へ参加し学んでいる方、学校生活において活躍の場を広げている方と熱心な活動に注目です。子ども達の成長においての貴重な体験活動を支えていただいている姿に感動しました。

子どもや地域の大人の方々との関わりが大きな力となっていくことを改めて感じる時間となりました。



取材者：斎藤

ボランティア桜



「ボランティア桜」さんは、精神障がい者に対する支援をしているグループで会員は11名です。年間スケジュールは、日程、内容などをだまかに決めておきますが、毎月第2、第4、第5火曜日はたまりば「さくらんぼ」を開催し、季節によって花見や散歩、地域の方との合流バーベキューなどを行っています。

今回は、中央公民館での調理の様子を紹介します。献立は、作りたいものをとの事で手巻き寿司、ボルシチ、サラダ、すいかのデザートと盛りだくさんでした。

料理したい人、お話をする人、お茶を入れたい人、各々が、自由になりたいことをする。そして、そっと寄り添って、笑顔で作っている姿が印象的でした。



精神障がい者とその家族の支援、たまりば運営
活動日：第2、第4、第5火曜日 たまりば「さくらんぼ」

会員の皆さんは精神障がいに係わる養成講座、フォローアップ講座や傾聴講座などを受講され日々努力されています。

精神障がい者の方は、心が不安なので、悩みを共有して、相手の方に寄り添うこと、そして心を開くのを静かに待ち、話を聞くことが大切と伺いました。会員の皆さんの今後の活躍にエールです。

取材者：岡崎、田口、安本